

「命の講話」

令和5年6月23日

しゃぼん玉

みなさん、こんにちは。

あさって6月25日（日）から7月1日（土）までの1週間。福田中学校では、長崎っ子の心を見つめる教育週間として、特に「命の大切さ」について、皆でしっかりと見つめなおす活動に取り組んでいきます。

長崎っ子の心を見つめる教育週間とは？

何を目的とし、いつごろから始まったのか？

よく覚えていない人は、担任の先生から話がありますのでしっかりと聴いてください。

これは何だかわかりますか？

（シャボン玉を飛ばす。）

つい最近までは自宅の玄関にいつも置いてあって、二人の娘たちと飛ばして遊んでいました。

歌を歌いながら…

しゃぼん玉飛んだ　　屋根まで飛んだ
屋根まで飛んで　　こわれて消えた
しゃぼん玉消えた　　飛ばずに消えた
生まれてすぐに　　こわれて消えた
風　風吹くな　　しゃぼん玉飛ばそ

この歌は、野口雨情という人が詞を書いています。

この歌は、楽しい歌でしょうか。

それとも、悲しい歌でしょうか。

楽しい歌だと思ふ人は？

悲しい歌だと思ふ人は？

実はこの詞を書いた野口雨情さんは、子どもが大好きでした。「自分にも子どもがいるといいな」「自分の子どもがいたらどんなに幸せだろう」…とずっと思っていたそうです。

そんな願いがやっと叶って、27歳の時に、かわいい女の赤ちゃんを授かりました。

このとき、野口雨情さんは心から喜び、自分の赤ちゃんを大切に大切に抱きしめ、うれし涙、幸せの涙を一杯流したそうです。

でも、その赤ちゃんは生まれて八日目に亡くなってしまったのです。その時の悲しみを詞にしたのが、この「しゃぼん玉」の歌詞なのです。

しゃぼん玉消えた 飛ばずに消えた
生まれてすぐに こわれて消えた

この詞は、生まれてすぐに亡くなった我が子のことを歌っているのです。私は、しゃぼん玉の歌を聞くと、しみじみと命の大切さを思います。

「命」はしゃぼん玉のようにこわれやすいものかもしれない。だから、「命」は大切に、大切にしなければなりません。

今日のお話は「命と幸せ」についてです。

この命は、みなさんのお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、ひいじいちゃん、ひいばあちゃん…からいただいたものです。だから、みなさんの命はとっても、とっても大事なもののなのです。

命の始まり…みなさんは、3憶分の一という奇跡的に生まれてきました。それぞれに役目を持って…

私には「はな」と「そら」という名の二人の娘がいます。しかし、「はな」の上に、「そら」の下に、生まれることのできなかつた子どもがいます。

医者から心臓が止まりました。という話を聞いたときはとてもつらかったです。だから、その子たちの分まで二人を大切に、愛情をもって育てていこうと誓いました。

命は生きる役目を持って生まれてくるのです。

そして、名前には意味があるのです。

幸せになってほしいという大人の思いが込められているのです。

自分の命と同じように、お友だちの命も、まわりの人たちの命も同じです。

大切にしなければなりません。

殴ったり、蹴ったりすること、つまり暴力を振るうことは、もちろんいけません。言葉でも人を傷つけるようなことをしてはいけません。

例えば、みなさんはおしゃべりの中で「バカ」とか「死ね」などという、とんでもない言葉を、深く考えないで言ったりしていませんか？友達の名前にくんやさんを付けて呼んでますか？相手が嫌がるあだ名で呼んでいませんか？

「悪ふざけでやってました、遊びでやってました」「そんなつもりではなかった。」「そんなに思っているとは気づかなかった」「言ってくれればいいのに」責任逃れの次は、責任転嫁です。

こんな言葉を聞くと、私はとても辛く、とても悲しくなります。

入学式で私は

「居場所があって居心地の良い、ありがとうがいっぱい思いやりのある学級・学年、今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校をみんなで創っていきましょう。」と話をしました。

3カ月が過ぎました。どうですか？

学校は楽しいですか？お友だちは楽しく学校に来ていますか？クラスに辛い思いをしている人はいませんか？

多くの人を楽しい学校をつくるために、感謝と思いやりの心を大事にして生活しています。しかし、残念なことに、自分がされて嫌なことをしたり、言ったりしている人もまだいるような気がします。

そこで、みなさんにお願ひがあります。

嫌なことをされたり、言われたりした時はもちろんですが、人が悲しむようなことをしたくなったり、言ってしまったときも誰かに相談してください。

みなさんは決して一人ではありません。必ず誰かが味方になってくれます。

少なくともここにいる先生方は皆さんの味方です。

友だちが悲しむようなことを言ったりしたりする人が一人もいない学校。

感謝と思いやりに溢れる笑顔いっぱい为学校。

みんなが生徒全員100%が

「学校に行くのが楽しくてしょうがない」と思える学校をみんなで創っていきましょう。

私も、先生方もみんなに幸せになってほしいのです。

みんな幸せですか？

幸せとは？ 何でしょうか？

幸せの感じ方は人それぞれだと思います。

相手を愛すること、大切にすること。

そのために一生懸命になること。

と私は考えています。

あなたには、

大切にしてくれている人

大切にしたい人 があります。

大切にしてくれている人

大切にしたい人 がこれからきっとできます。

自分を大切にすることが、大切にされることにつながります。

みなさんには

自分が幸せ生きる権利と

人を幸せにする義務があります

すべての命を大切に

自分は幸せだ！と思える生き方を
してほしいと願っています。

一生懸命話を聞いてくれている皆さんなら必ず
できます。一緒に頑張っていきましょう。
最後まで聞いてくれて、

ありがとうございました。